

対談特集
Vol. 2

「若手世代と考える原子力」

幅広い視野から有識者のお話しをうかがう対談企画の第二回は、「若手世代と考える原子力」をテーマに、課題の多い原子力を担っていく若手世代として原子力を専攻する研究者、学生の皆さんに座談会形式でお話しを伺いました。聞き手は元日経新聞論説委員の鳥井弘之氏です。

各氏の問題意識を聞く

話し手
羽倉 尚人氏
はぐろ なおと
東京都市大学
原子力研究所 助手

学生の時から日本原子力学会の学生連絡会などで様々な活動に携わる。一般企業を経験して、最近では人材問題など重視し活動。

主な研究分野は原子炉物理/核データ評価で、二〇一一年には日本原子力学会論文賞を受賞。



のひとつ域ネットワークの協力に人材確保も得て色々な活動をしていきますが、そういうなかで、若手同士で切磋琢磨するような場を設けたいと思っています。また同画委員会では、もう少し若年層、中高生に対して、原子力業界に入るという方向性があるのか、また将来のキャリアパスが少しでも見えやすい形にするため、ロールモデル集をつくるなどの活動もしています。今後、こうした中高生や学生が希望を持てる、魅力ある原子力産業界にするにはどうしなければいけないか、議論したいと思っています。

話し手
犬飼 健一郎氏
いぬい けんいちろう
東京都市大学 大学院
共同原子力専攻 修士1年

エネルギーや原子力をめぐる議論のほか、学生との対話企画では産経新聞社賞を受賞。一方、ブレイクダンスなど、取って置ける理系男子の一面も。

研究テーマは、直接処分における使用済みMOX燃料の保管廃棄容器的設計。

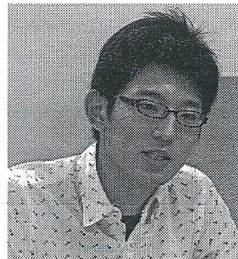


は思っているんです。日本の立ち位置というのを世界的なレベルで考えると、アジアの各国が目指すという意味で「日本」という言葉がでてきてほしい。反面、日本が今から、原子力ばかり好き嫌いだけで、原子力も、もったいない、アジア全体として、道を塞ぐことにつながる心配もある。僕は思うんです。

話し手
北蘭 孝太氏
きたの たかた
東京都市大学 工学部
原子力安全工学科 4年

エネルギーや原子力をめぐる討論会の企画や実践を通じ、みなとともに考える機会作りを目指す。

スポーツは何でも好き、大学からのひとり暮らしで料理の腕もあげた。大学では、核融合-核分裂ハイブリッド炉プラントにおける核特性の研究を行っている。



を含めても十数%と主要国では最低水準にもかかわらず、関心が高くない気がしています。また、その人たちが提案したことに、その人たちが反対している。反対の理由として、「もう一つの理由」として、フランスから原子力のエネルギーを輸入しているわけでもないのに、原子力政策を議論する面がある。欧米でのエネルギー政策をめぐって議論や決める方向を見ると、日本の場合は、きちんと上の人たちが周りの人たちにエネルギー政策について話を聞かせる必要がある。エネルギー政策を議論する面がある。欧米でのエネルギー政策をめぐって議論や決める方向を見ると、日本の場合は、きちんと上の人たちが周りの人たちにエネルギー政策について話を聞かせる必要がある。

学生のときから、日本原子力学会の学生連絡会などで活動していましたが、若手の議論の場など、特に今後考える必要があると思うテーマが、集まり原産協会の地

原子力の今後やエネルギー政策について考えたときに、教育実習のなかで生徒たちに言うことが、原子力のおかげも必ずあると僕が書いたとき、

エネルギー政策に関心があり、今回のテーマに挙げました。日本は、食料自給率は四〇%程度で、危険性を持ち、エネルギー自給率は原子力発電

エネ政策と原子力の位置づけ 政策のブレは政治の責任?

鳥井 皆さまから、せめて国が考えるエネルギー問題くらいは考えてほしい」と。まずエネルギー政策上、原子力の位置づけについてお話ししたいと思

がなにとなく...。いつまでも方向性が決まらず不安になります。鳥井 私に思うに、あの当時の政治はオタクオタクで、家庭が考えるエネルギー問題への視野が持たれていない気がしています。北蘭 政治家の方がどう



鳥井 このことを熱弁されていた記憶があります。「エネルギー問題は結構重要だと思

政策決定の軸 推進と規制 「バランスのよい関係を」 鳥井 少し関連した話なのですが、政治は人気と権力が関わったとしても大きな方針というのは変わらな

●この記事・写真等は日本原子力産業協会の許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

原子力産業の今後 進むべき道

優れた技術で国際的役割も

削られたと当初は... 批判は国民からの批判... 規制は規制... 専門家の知見の交流... 国際関係を確認して...

鳥井 原子力産業の進むべき道... 大綱 原子力産業の進むべき道... 鳥井 優れた技術を維持... 大綱 海外に目を向けて...

鳥井 必ず中国の原子力... 大綱 中国の原子力... 鳥井 中国の原子力... 大綱 中国の原子力...



鳥井弘之氏 元日経新聞論説委員 元東京工業大学教授

鳥井 原子力産業の進むべき道... 大綱 原子力産業の進むべき道... 鳥井 優れた技術を維持... 大綱 海外に目を向けて...



若い世代との対話活動 機会を広げる連携がカギに

鳥井 先ほどの話では... 大綱 若い世代との対話活動... 鳥井 先ほどの話では... 大綱 若い世代との対話活動...

鳥井 先ほどの話では... 大綱 若い世代との対話活動... 鳥井 先ほどの話では... 大綱 若い世代との対話活動...

鳥井 先ほどの話では... 大綱 若い世代との対話活動... 鳥井 先ほどの話では... 大綱 若い世代との対話活動... 鳥井 先ほどの話では... 大綱 若い世代との対話活動...